

第20回 東北公済病院看護連携のつどいを開催して

地域医療センター 前看護師長 佐藤 広子

去る3月1日に、1年ぶりに看護連携のつどいを開催しました。今回のテーマは、「慢性腎臓病の看護～腎臓を守る生活について学ぶ～」で、当院の透析看護認定看護師より講義がありました。多くの方に参加していただけるよう、集合研修とオンライン研修の同時開催（ハイブリッド型研修）で行い、病棟単位でご参加いただいた病院もありました。講義は、慢性腎臓病について基本的な生理学的知識から腎代替療法などの説明がありました。また、当院で開催している腎臓病教室の内容や具体的な食生活指導の紹介がありました。意見交換会では、人工透析の中断を意思決定された方の事例紹介があり、人工透析治療に携わる看護師のジレンマや看護の在り方を共有する時間となりました。



この看護連携のつどいも、お陰様で第20回を迎えることが出来ました。発起人である前看護部長の「地域の医療・福祉の皆様との顔の見える関係作り」の思いを大切に、これからも地域の方々との、情報共有や意見交換の機会を定期的に行っていきたいと思います。

I号館7階母子センターにLDRを開設しました

母子センター 看護師長 高橋 有希

LDR

Labor : 陣痛 Delivery : 分娩 Recovery : 回復

陣痛期から分娩回復期まで同じ部屋で過ごせるLDRが出来ました。お部屋の雰囲気は、落ち着いたベージュと淡いピンクを基調とし、トイレ、シャワーが完備され、好きな音楽を聴いたり、テレビを見ながら過ごすことができます。ご主人も同室のソファでゆったり付き添うことができます。



お好みのアロマを使用したり、クッションを使用しながらリラックスして過ごしていただけます。Wi-Fiも近々使用可能になる予定です。

麻酔分娩をご希望の方も利用でき、特別な時間を過ごすにはお薦めのお部屋です。分娩終了後もそのまま休んで頂き、ご希望があれば産後1日目までお使いいただけます。

人生に数回しかない分娩体験を、ぜひ東北公済病院のLDRで過ごしてみませんか。スタッフ一同お待ちしております。

※LDR料金：1日 ¥20,000（非課税）



船岡城址よりの一目千本桜

理念

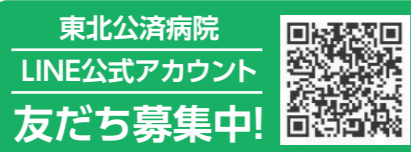
地域の皆様から信頼され、安心して選択される病院を目指します。

基本方針

- ①患者さん中心のあたたかみのある医療サービスを提供します。
- ②常に医療水準の向上に努め、良質の医療を提供します。
- ③地域医療体系に積極的に参加し、合理的で効率的な医療を行います。
- ④健診機能の充実を図り、積極的に病気の予防に取り組みます。
- ⑤健全な経営を図ります。

発行 東北公済病院 広報委員会

編集 地域医療センター



東北公済病院
LINE公式アカウント
友だち募集中!



本誌はUD書体を使用して
分かりやすく、読みやすさに
配慮しています。

【お願い】
婦人科・整形外科・乳腺外科・眼科・泌尿器科・
歯科口腔外科は完全予約となっております。
ご紹介の際は、地域医療センターにご連絡を
お願いします。
022-227-2353(直通)

連絡先／東北公済病院 地域医療センター

〒980-0803 仙台市青葉区国分町2丁目3-11

TEL 022-227-2353(直通) FAX 022-264-4181(直通)

受付時間／8時30分～17時15分まで（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）

<https://tohokukosai.kkr.or.jp/>



新年度を迎えて

東北公済病院
副院長 兼 外科統括部長
植田 治昌

季節は移ろい、初夏の陽気かと思えば春先の薄寒さに戻る今日この頃です。
コロナがあまり騒がれなくなり、世情も以前の陽気を取り戻した如くの昨今ですが、感染者数は下げ止まりこちらも薄寒い感じがあります。

連携を頂く先生方におかれましては御健勝・御活躍のことと存じます。
今年度もどうかよろしくお願い申し上げます。

当院はこの度、今年度の目標を下記のごとく決めました。

～時代に選択される病院であり続けるために～

- 1.職員全員が高い倫理観と責任と誇りを持ち、患者さんに寄り添う病院を目指します
- 2.職員間の円滑なコミュニケーションに基づきチームパフォーマンスを高め、人材の育成を図り、より安全で快適な医療環境を整えます
- 3.DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進し、質の高い医療サービスの提供と業務の効率化および経営の安定化を図ります

1.は個々の職員の職業意識を高めることの重要性を示す、医療機関としての総論的項目です。以下2.と3.はその道程を示す項目と言えます。

- 2.では、多職種連携によるチーム力向上が職員の成長と医療安全や環境の改善に繋がることの重要性を強調しています。今年には更に3.を挙げました。デジタル技術の活用で業務効率を改善し、医療の精度を高めると同時に、職員の労働環境改善や診療の拡充に繋げ、患者さんの受け入れを増やすという項目です。

「時代に選択される」という根本理念において、時代の変化に乗り遅れず先取りも目指すという意味でのこの分野の活用推進は重要な要素となります。

当院では来年の電子カルテシステム更新に向けた準備を進めておりますが、これに併せる形で新たなデジタル技術の導入に向け様々な検討を行っております。

さてこの目標。「病院」を「地域医療」に置き換えても腑に落ちるものです。

～時代に選択される地域医療を実現するために～

- 1.地域の病院と診療所が医療を支えるという自覚と覚悟のもと、患者さんたちに寄り添う地域医療体制の構築を目指す
- 2.病診間の円滑なコミュニケーションに基づくチーム力によって、安全で快適な地域医療環境を整え、同時にその環境を人材教育の場として活用する
- 3.DXの推進で病診間のオンラインでの情報共有・検討の機会を増やし、地域医療の質を高め業務の効率化を図る

地域医療を維持する上で核心となるのは医療機関の連携です。

当院が取り組むべきは、内部において自院目標の達成を目指すと同時に、地域医療においては「様々な医療機関の間での円滑なコミュニケーションに基づくチーム」に積極的に参画し、地域全体の医療チーム力向上に寄与する事、と承知をしております。

今年度の当院は3年ぶりに伝統の「連係の集い」を復活させ、来たる7月5日(水)、江陽グランドホテルで開催いたします。
当院での新たな医療の取り組みのご紹介、あるいはこれまで行われこれからも継続される医療の(復習的)ご案内、など定例の講演会の後には、大広間で定例の屋台ブースも開店いたします。ご来場の先生方との忌憚無い歓談こそを我々待ち望んでおります。
この集いが病診間の敬意と理解の深化に寄与する一助となるようお願い、鋭意準備を進めております。ご案内状を後日、お送りいたします。

連携を頂く先生方のご来場を心底よりお待ちしております。
ご多用のところ誠に恐れ多いことながら、何卒よろしくお願い申し上げます。

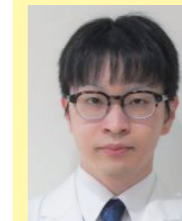
新任医師紹介

①職種 ②出身地 ③出身校
④趣味 ⑤ご挨拶並びに豊富



オツ フジ
乙藤 ひな野

- ①外科
- ②宮城県 ③富山大学
- ④映画鑑賞・旅行
- ⑤至らぬ点もあるかと思いますがよろしくお願い致します。



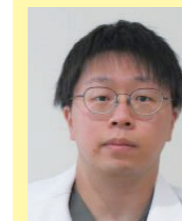
コ バヤシ ル カ
小林 路佳

- ①研修医
- ②新潟県 ③東北大学
- ④水泳・ボードゲーム
- ⑤積極的に研修していきたいと思っております。何卒よろしくお願い致します。



ヤマ ムラ サ キ
山村 咲季

- ①研修医
- ②東京都 ③山形大学
- ④映画
- ⑤実りある初期研修に出来るよう全力で頑張ります！ご指導よろしくお願い致します。



サカ イ ケン ト
酒井 賢人

- ①研修医
- ②富山県 ③東北医科薬科大学
- ④トレーニング
- ⑤一生懸命がんばります。よろしくお願い致します。



タカ セ リョウ
高瀬 諒

- ①研修医
- ②福島県 ③東北医科薬科大学
- ④スキー・テニス
- ⑤少しでも早く仕事を覚えらるよう努力していきますので、ご指導の程よろしくお願い致します。



オギ ハラ カズ ノリ
荻原 和徳

- ①研修医
- ②長野県 ③東北医科薬科大学
- ④海外旅行・映画
- ⑤何事にも一生懸命取り組んでいきたいと思っております。ご指導よろしくお願い致します。

新規登録医

令和5年3月現在

	医療機関名 (登録順)	医師氏名	主診療科		医療機関名 (登録順)	医師氏名	主診療科
1	水の森整形外科クリニック	佐藤 研友	整形 外科	6	仙台駅前ささき歯科クリニック	佐々木 具文	歯 科
2	なごみこどもクリニック	鈴木 信	小 児 科	7	笹原歯科クリニック	笹原 麻美	歯 科
3	加瀬クリニック	濃沼 信夫	内 科				
4	仙台駅北口耳鼻咽喉科	菊地 俊晶	耳鼻咽喉科				
5	がんコーディネイトクリニック	和田 仁	腫瘍放射線科				

着任のご挨拶

診療部 消化器内科 部長 木皿 典宏

令和5年4月1日より東北公済病院内科に着任しました木皿典宏と申します。専門は消化器内科で、特に肝疾患の診療をしておりました。前任地のJCHO仙台南病院には16年間お世話になり、宮城県南の地域医療に携わっておりました。東北公済病院には肝臓グループの先輩である宮崎豊先生が長年にわたり勤務され、たくさんの肝臓疾患の患者様が通院されていると伺っております。これらの患者様の治療の一端を担えるように励みたいと思います。地域エリアの先生方におかれましても、ウイルス性肝疾患をはじめ、よくわからない肝機能異常のある方や診断がついていても肝機能正常化が難しい患者様がおられましたら、いつでもご紹介いただければ幸いです。

また、当院には小針瑞男先生、宮崎豊先生、伊藤薫先生、千葉雅樹先生はじめとする消化器系の先輩方がおられ、グループの指導にあたり、さらに若手の医師たちが内視鏡治療なども積極的に行っております。具体的には胃や大腸のポリープの内視鏡切除や総胆管結石採石のような内視鏡的な胆道処置、早期胃がんの内視鏡的粘膜切除などを行っております。

さらに、当院内科の特徴としまして腎・高血圧、消化器、糖尿病、神経疾患にとどまらず様々な分野の内科系医師がみんなで相談しながら治療にあたっていることが挙げられると思います。これは、原因がよくわからないが調子が悪いといったような一般的な内科疾患に対応するには非常に大切なことであり、患者様が何か調子が悪いと言った時にお気軽にご紹介いただければ幸いです。

今後、東北公済病院内科の一員として地域の医療に貢献できるように頑張りたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

経歴:

秋田大学 平成5年卒業
仙台市医療センター仙台オープン病院にて3年研修
平成 8年 東北大学大学院医学系研究科・旧第三内科入局
平成12年 八戸市立市民病院・消化器内科
平成19年 JCHO仙台南病院・内科消化器科



出身地: 宮城県
出身校: 秋田大学
趣味: ガーデニング

着任のご挨拶

診療部 泌尿器科 医長 黒田 悠太

今年4月より泌尿器科に勤務しております黒田と申します。登録医の先生方、地域の医療機関の皆様には、日頃から当院との連携にご協力をいただき、感謝申し上げます。

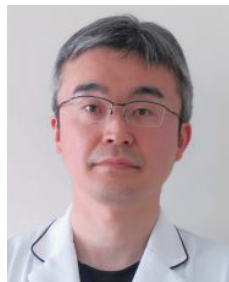
私は仙台二高から山形大学医学部に進学し、大学卒業後は山形県内の病院（山形大学医学部附属病院、山形市立病院済生館、公立置賜総合病院等）に勤務しておりました。今回初めて宮城県内の医療機関に勤務することになり、連携医療機関の情報をスタッフに教えてもらいながら、日々の診療にあたっております。

現在、当科は常勤2名（泌尿器科統括部長と小生）で診療をおこなっています。当科では、前立腺癌・膀胱癌・腎臓癌等の尿路

悪性腫瘍、尿路結石、排尿障害、骨盤臓器脱（膣からの臓器の突出）など、幅広い疾患の診療をおこなっております。常勤医2名とも泌尿器科専門医、泌尿器腹腔鏡技術認定医、がん治療認定医の資格を有しております。患者さん・ご家族と十分に話し合い、最適な治療を提供できるよう努めております。近年、泌尿器科領域ではロボット支援下手術の適応が拡大されており、適応がある患者さんについては適切な医療機関を紹介しております。それ以外の、経尿道的手術、従来の開腹手術・腹腔鏡手術等については当科で積極的に治療を行っていきたいと考えております。特に尿路結石に対する経尿道的レーザー手術については、診療経験も豊富ですので、ご紹介いただければ幸いです。それ以外にも、排尿管理にお困りの患者さんや施設入所者さん等がありましたら、ご紹介いただければと思います。

約3年続いた新型コロナウイルス感染症も、5類感染症への移行により一つの節目を迎えました。以前ほどの脅威はなくなりましたが、医療機関や高齢者施設においては、注意が必要な感染症であることには変わりはありません。制度的にも段階的な移行期であり、登録医の先生方や、高齢者施設の皆様におかれては気苦労が多いことと思います。少しでも早く平時の医療を取り戻せるよう、願うばかりです。

高校卒業から22年。通学路だった広瀬通が、時を経て通勤路になりました。これまでの経験を活かし、地元仙台の地域医療に貢献できるよう努めて参ります。何卒よろしくお願いたします。



出身地：宮城県
出身校：山形大学
趣味：スポーツ観戦、
家庭菜園

令和5年度を迎えて

診療部 形成外科 医長 相澤 貴之

形成外科という診療科は、消化器科、眼科、耳鼻科などの身体のある場所（部位や臓器）別の診療科ではないので、「聞いたことはあるけれどどんな病気を治すのか、良く分からない」という方が多いと思います。一言で言うと、「形成外科とは身体に生じた組織の異常や変形、欠損、あるいは整容的な不満足に対して、あらゆる手法や特殊な技術を駆使し、機能のみならず形態的にもより正常に、より美しくすることによって、みなさまの生活の質 "Quality of Life" の向上に貢献する、外科系の専門領域」です（日本形成外科学会HPより）。特に当院は乳房再建・リンパ浮腫治療を中心に皮膚/皮下腫瘍・眼瞼下垂症・透析のためのシャント造設・切り傷/擦り傷などの外傷・褥瘡・ばね指/巻き爪などまで、まさに頭のとっぺんから足の先まで幅広く行っております。

新年度を迎え、個人的には当院に“帰ってきた”ことが大きな変化ではあります。私は4年前まで当院で勤務しておりました。その後、東北大学病院に赴任し、乳房再建とともに頭頸部再建に関わり、再建外科として研鑽を積ませていただきました。そしてこの度、東北の乳房再建・リンパ浮腫治療の中心とも言える当院に再度赴任してまいりました。当院では病院を挙げての他職種によるサポートの中で、さらに専門性を活かして患者様の"Quality of Life"の向上に役立てればと考えております。

本年度の当科の診療体制は、経験豊富な武田先生、女性医師の下寺先生の間に、診療の守備範囲の広さを個人的な“売り”としている相澤が加わり層の厚い体制になっていると考えております。

最後になりますが、当科は東北地方だけでなく多くの方々のお役に立てよう全力で頑張っております。患者様におかれましては上記のお悩みを中心になんでもご相談ください。地域の先生方におかれましても当院表記の専門分野に関わらずご紹介いただきたく存じます。

今年度もどうぞよろしくお願いたします。



出身地：宮城県
出身校：東北大学
趣味：ゲーム等